

4 かがしま青年塾

(1) 目的

これからの鹿児島を担う青壮年層を対象に、各界で活躍する経営者やリーダー等との交流や現地での研修等を通して、次世代かごしまの地域を支えるリーダーを育成する。

(2) 主催

鹿児島県教育委員会

(3) 対象者及び定員

学生，社会人で，原則毎回参加できる県内在住の人（18歳～45歳程度）30人程度（先着順）

(4) 期日及び会場

令和2年7月～令和2年12月（月1回程度，原則日曜日に実施）

かごしま県民交流センター，県内青少年研修施設ほか

(5) 事業内容

講演会，現地研修，宿泊研修，交流会等

(6) 受講料

無料（但し，宿泊研修等の必要経費は実費負担）

(7) 塾生

38人（学生15人 社会人23人）

(8) 塾生の感想

- ・ 普段，個人ではお会いすることのできない講師の話が聞けた。講師の方々の思いや考え方などから新しい発見があり，様々なことを発見できた。
- ・ グループ活動において，意見を積極的に発表する中で，コミュニケーション力，リーダーシップ力が身についた。
- ・ 様々な人との交流があり見識に加え人脈も広げることができた。同世代や若い方々の意識やレベルの高さに大変刺激を受けた。
- ・ 学生と社会人が交わる場，様々な業種の方々の話を聞く機会は普段得られない。同じ熱量を持っている塾生と出会えたことがかけがえのない思い出になった。

(9) 活動の様子



特別講演（リモート）



現地研修



閉講式

(10) 実績

主な活動等		日時等	主な内容・講師等
第一回	開講式	7月19日(日) 10:30~12:30 交流センター	◆オリエンテーションⅠ(事業概要説明等) ◆知事あいさつ ◆来賓あいさつ(鹿児島県議会議長) ◆オリエンテーションⅡ(自己紹介等)
第二回	宿泊研修 (南薩方面) 特別講演	9月26日(土) 27日(日) 14:00~ 翌12:00 南薩少年自然の家	◆グループワーク (信頼関係づくりとコミュニケーションスキルの向上) ◆特別講演 講師:久保 哲也 SMBC日興証券株式会社顧問 演題:「人生100年時代をどう生きるか」
第三回	特別講演	10月18日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆特別講演 講師:金丸 恭文 フューチャー株式会社代表取締役会長 兼社長グループCEO 演題:「Challenge to Innovation」
第四回	特別講話 現地研修 (始良方面)	10月25日(日) 10:00~17:00 交流センター他	◆特別講話 講師:島津 公保 株式会社島津興業取締役相談役 演題:「歴史を学び、歴史を活かす~次世代への期待~」 ◆高いポテンシャルを秘めた県内企業訪問 ・ヘンタ製茶有限会社(霧島市牧園町) 講師:邊田 孝一 代表取締役 ・有限会社山下製畳(始良市加治木町) 講師:山下 弘 取締役専務
第五回	現地研修 (北薩方面)	11月8日(日) 10:00~17:00 交流センター他	◆高いポテンシャルを秘めた県内企業訪問 ・有限会社尾塚水産(阿久根市) 講師:尾塚 エイ子 代表取締役社長 ・農業生産法人株式会社ゼロプラス(いちき串木野市) 講師:松田 健 代表取締役社長
第六回	交流会	11月29日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆県内企業等の若手リーダーの先進事例発表 ◆県内若手リーダーとの意見交換 講師:福島 大輔 NPO法人桜島ミュージアム理事長 丸野 博和 NPO法人L a b蒲生郷副理事長 小野 公裕 有限会社サイバーウェーブ代表取締役社長 佐々木 こづえ 株式会社アピール代表取締役社長
第七回	特別講演 閉講式 ふりかえり	12月20日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆特別講演 講師:片野坂 真哉 ANAホールディングス株式会社 代表取締役社長 演題:「志千里に在り ~青年の志が鹿児島を変える、世界を変える~」 ◆閉講式 塾生代表あいさつ 知事あいさつ ◆ふりかえり・まとめ (写真でふりかえるかごしま青年塾)

5 かがしま県民大学連携講座

(1) 目的

県民の多様化・高度化する生涯学習ニーズに応えるため、大学等などの教育機関、市町村等公的機関、民間の団体等と連携して公開講座等を実施する。

(2) 事業概要

ア 講座名

かがしま県民大学連携講座

(うち、交流センター内で実施する講座は「かがしま県民大学とことんまなぶ一講座」という。)

(7) かがしま県民大学連携講座（交流センター外で各大学等において開催される講座）

中央センターの役割・・・講座情報を集約しホームページ等で広く広報する

【令和2年度実施予定】

大学等	6校(28講座)
-----	----------

(イ) かがしま県民大学とことんまなぶ一講座（交流センター内で開催される講座）

中央センターの役割・・・会場確保や講座運営の支援等 ※詳細は下記

【令和2年度実施予定】

大学等	7校(7講座21回)	その他の団体	6団体(6講座17回)
-----	------------	--------	-------------

イ 対象

県民

ウ 講座内容

現代的課題等に基づく内容等

(3) かがしま県民大学とことんまなぶ一講座（以下「とことんまなぶ一講座」）について（詳細）

ア 主催

中央センターと、とことんまなぶ一講座を実施する団体等（以下「実施団体等」。）との共催

イ 連携可能な機関・団体等

次の(7)～(ホ)のいずれかに該当し、暴力団及びこれに準ずる団体と関わっていない者

(7) 大学等（大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校）

(イ) 行政機関等（国・県・市町村及び公益財団法人等）

(ウ) 企業・民間等（鹿児島県内に主たる事務所を有する企業・民間教育団体）

(エ) NPO法人等（鹿児島県内に主たる事務所を有する生涯学習の推進に資するNPO法人）

(ホ) その他、生涯学習の推進に資すると中央センターが認める団体等（自主グループ等）

ウ 講座内容

広く県民を対象とした講座で、次の事項を全て満たすこと

(7) 次の項目のいずれかに該当するものであること。

- ・ 県民の多様化・高度化するニーズや現代的課題に関する内容
- ・ 独自性・専門性を生かした高度で専門的な内容
- ・ 中央センターが必要と認める内容

(イ) 次の項目のいずれにも該当しないものであること。

- ・ 営利を目的とする内容を含むもの(営利事業の広報、人材や物品購入の勧誘を含む。)
- ・ 特定の政党、宗教、宗派の利害を目的とした内容を含むもの
- ・ 公序良俗に反する内容を含むもの
- ・ 公演(演奏会、演劇等)に類するもの

エ 講座数

1団体等当たり1講座（1講座の実施回数は5回以内）

※ 大学等については、1学科当たり1講座

オ 「とことまなぶー講座」の実績

No.	実施機関	講座名	期 日	回数	定員	受講者数
1	鹿児島大学病院 歯科麻酔科	歯が痛いのに歯は悪くない 非菌原性歯痛を知る	12月6日(日)	1	50	16
2	鹿屋体育大学	健康づくり・介護予防講座 歩く脳トレ運動 ～スクエアステップ～	11月11日(金) ～ 11月25日(金)	3	各 30	42
3	鹿児島国際大学	鹿児島の歴史や文化，郷土 の先人についての講座	中止	—	400	—
4	第一工業大学	観測者依存性(相対性)をめ ぐる物理学の発展	5月23日(土) ～ 8月22日(土)	3	各 50	38
5	鹿児島純心女子短期大学 (江角学びの交流センター)	シルバー世代のための健 康・教養講座	7月11日(土) ～ 8月29日(土)	5	各 30	35
6	放送大学鹿児島学習センター	公開講演会	9月20日(日) ～ 2月21日(日)	4	各 80	107
7	鹿児島工業高等専門学校	生活の中の工学シリーズ	中止	—	各 40	—
8	鹿児島県マルチメディア教 育研究会	メディア教育セミナー2020	中止	—	100	—
9	鹿児島県視聴覚教育研究協 議会	鹿児島県放送教育・情報教 育研究セミナー	中止	—	80	—
10	NPO法人global	恋する鹿児島～英会話で伝 える街の魅力～	中止	—	各 15	—
11	ゴッタン成音会	ゴッタンを作って弾こう！ 唄おう！	中止	—	各 15	—
12	韻天流天吹塾	さつまの伝統楽器天吹を自 作し天吹の音色を楽しむ	中止	—	各 15	—
13	記の向くMAMA	あなたに優しい心理学	9月12日(土) ～ 2月6日(土)	4	各 20	60
【講座合計】 6講座 20回 受講者総数 298人						

カ 成果と課題

(7) 成果

- ・ 専門家以外にはあまり知られていない、量子力学に基づいた科学や技術について解説した。「量子技術」は、かつてのIT革命のように、次世代の産業技術革命として期待されており、日本を含め各国がその覇権争いを繰り広げようとしている。最近では量子コンピュータや量子暗号についてのニュースも頻繁に取り上げられており、これらに関する本講座は、参加者に大変興味を持っていただき、多くの質問もいただいた。
- ・ コロナ禍ではあるが、比較的限られた人数であったため、ソーシャルディスタンス・消毒・検温に細心の注意を払いながら実施することができた。年齢層は高齢の方々であるが、熱心な聴講と活発な交流ができた。
- ・ 経済の基本用語や今と昔の経済の比較についての理解とともに、経済政策については政党間の違いよりも政治家個人の考え方が大きく影響していたことを理解していただいた。また今回の講演を通して、経済についてもっと学びたいという意欲の喚起にも繋がった。
- ・ 鉢の号数の数え方や種類、材質などの基本的な事項から、水耕栽培セット等の実物の展示・紹介をはじめ、野菜や観賞植物の育て方の基礎とともに、世界（オランダやイスラエル）と比較した一定面積あたりの生産収量が劣る日本農業の現状や、種子の生産を外国に依存している現状などについて理解を深めていただいた。また今回の講演を通して、多くの受講者から野菜や観賞植物の栽培に挑戦してみたいという意見が寄せられ、満足度の高い講演会となった。
- ・ スクエアステップは鹿児島県内全域に普及できていない。今回は特に鹿児島市の方にスクエアステップを知って頂く機会となった。アンケート調査から「ステップで筋力増強、脳トレになってとても良かった」などの声が聞かれ、大変好評であった。
- ・ 歯科医療での慢性疼痛である非菌原性歯痛は、社会的損失も多い。今回の講座には、実際の疾患で悩まされている人から医療者まで来られており、人数こそすくなかったが、疾患への理解や適切な対応などの知識を深めてもらうことができたこととアンケート結果より示唆された。これにより、間接的に不要な医療機関受診などの社会的損失につながると考えられた。
- ・ 毎回参加して下さる方々が元気そうで安心感を得た。

(8) 課題

- ・ 当初5回の講座を計画していたが、県内の新型コロナウイルス感染拡大時期の2回分を中止することになってしまった。マスク着用や検温など対策を施したうえ、受講者の間隔を空けるため定員も当初の半分以下にしたことで、早々に定員に達し、受付を終了しなければならない回もあった。今後もこの状況が続くのであれば、あらかじめ広さに余裕のある研修室を設定するなどの対応が必要になるだろう。
- ・ 毎年テーマを工夫し広報をしているが、受講生の数が伸び悩んでいる。多方面の広報活動と受講しやすい条件を整えていくことが課題である。
- ・ 今後も人々のニーズに応える講座テーマの設定と広報活動の充実に努める必要がある。
- ・ 今後、鹿児島県内の介護予防の運動として取り入れてもらえるように普及を図りたい。
- ・ 当該疾患における適切な医療機関の受診のためには、医療者も含め、知識や対処法などを多くの人に知っていただく必要がある。今回の講座のみでは不十分であり、継続した活動が必要である。
- ・ 参加者は、心理学の勉強をしたい思いが強くなるので、もっと自身の教材を揃えたいと思った。

キ 講座の様子



6 来所研修

(1) 趣旨

教育メディアに関する研究テーマや課題をもったグループ・団体又は個人が来所して、職員の指導・助言のもとに、理論研究や操作演習を通して問題解決を図り、併せて教育メディアの利用促進を図る。

(2) 対象及び内容

ア 自主グループによる来所研修

- (ア) 中央センターで実施しているビデオやパソコンに関する講座を受講した人を中心に活動しているグループを対象とする。
- (イ) 令和3年3月現在、4グループが自主的に活動している。
(ビデオ関係3グループ・パソコン関係1グループ)

イ 県民による個人での来所研修

- (ア) 原則として中央センターの講座修了者を対象とする。
- (イ) 電話や文書で事前に所属名・研修者氏名・研修内容を確認し、来所研修申込みを受け付ける。

ウ 学校教育・社会教育関係者による来所研修

- (ア) 電話や文書で事前に所属名・研修者氏名・研修内容を確認し、来所研修申込みを受け付ける。
- (イ) 部活動や学級活動など児童生徒が来所研修する場合は、顧問の教員や担当者の同伴を条件とする。

(3) 実施日

原則として、開館日の午前9時～午後5時とする。ただし、休館日・研修講座開催日・業務に支障をきたす恐れのある日は除く。

(4) 成果

ア 地域社会への貢献

各地域の美しい自然や優れた伝統芸能・地域行事等を映像化して、地域公民館や学校・教育関係等へ提供している。

イ 県及び全国視聴覚教材コンクールへの出品

来所研修をしている方が制作したビデオ作品やパソコン教材が、県自作視聴覚教材コンクールに毎年多数応募されている。全国のコンクールに出品し、ここ数年高い評価を得ている。

ウ 自主グループ発表会「ふれあいメディアフェスティバル」の実施

自主グループの日頃の活動の様子や成果を発表し合い、メディア教育に関する知識や技術の向上を図るとともに、お互いの交流や親睦の機会となっている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止となった。



制作演習室



パソコン演習室



ビデオ編集室

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	—	124	91	164	147	190	315	166	73	136	212	50	1,668
16	176	160	210	247	108	126	186	131	116	107	216	184	1,967
17	118	236	368	434	158	244	245	178	107	264	446	146	2,944
18	119	137	243	250	427	275	248	311	139	198	165	213	2,725
19	199	147	205	273	358	280	244	313	205	275	239	232	2,970
20	270	152	206	387	188	265	296	266	201	275	349	147	3,002
21	272	166	295	294	245	197	296	393	218	320	323	193	3,212
22	154	135	245	206	152	146	229	244	108	174	238	183	2,214
23	176	174	202	207	150	151	280	318	375	137	355	102	2,627
24	291	205	271	218	175	234	249	274	213	223	359	117	2,829
25	198	167	230	171	123	207	156	181	115	201	119	59	1,927
26	226	190	101	141	122	151	188	177	143	165	164	59	1,827
27	151	177	88	142	34	143	106	234	124	142	158	87	1,586
28	83	82	180	77	41	111	112	167	94	180	158	42	1,327
29	135	87	145	96	39	122	143	146	136	189	115	65	1,418
30	151	122	89	67	50	93	122	118	100	61	169	68	1,210
令和1	86	99	65	111	74	100	60	85	67	79	58	10	894
令和2	16	0	0	0	4	40	38	31	32	17	43	29	250

表 オープン当初からの来所研修による利用状況（令和3年3月31日現在）